

提案 1 「市民参加型のカーボンニュートラル普及啓発事業」

1 想定される事業年度

令和 7 年度～

2 事業内容および事業費

(1) 目的

函館市ブルーカーボン推進事業(※)をもとに、市民が気軽に参画できる事業を実施し、①天然コンブの藻場保全、②脱炭素化されたエネルギーの活用、③市民へのカーボンニュートラル普及啓発をめざす。

※函館市ブルーカーボン推進事業

モデル地区において養殖コンブの二酸化炭素吸収量の調査を実施し、Jブルークレジットの認証を目指す。また、その売却益を活用して天然コンブの藻場再生事業等に取り組む。

(2) 内容

令和 7 年度に JBE (ジャパンプルーエコノミー技術研究組合) が公募予定の Jブルークレジットを協議会として購入し、以下の内容において、オフセットに活用する。

- ・ 500 円程度のカプセルトイ (例: 函館市グッズ 200 円・オフセット分売上 300 円等) 販売機を設置。
- ・ 函館市グッズは観光に資するグッズ (マスコットキャラクターや縄文遺跡関連) を想定。
- ・ カプセルトイ販売機にブルーカーボン施策の PR パネルを併設する。
- ・ 売上を、例年開催する「はこだてエコライフ展」等のイベントで排出される CO2 のオフセットに活用する。

(3) 事業費

約 200 千円

(内訳) ・ Jブルークレジット購入費 80 千円

※R5 年度平均単価約 80 千円/t-CO2 をもとに、1t 購入した場合の購入費を計上

・ カプセルトイ販売機購入費 100 千円

・ ブルーカーボン施策 PR パネル製作費 20 千円

※カプセルトイ販売機, PR パネルは各 1 個あたりの想定製作費を計上

(4) 事業の成果

- ・ Jブルークレジットを購入することで天然コンブ藻場の保全に繋がる。
- ・ カプセルトイの活用, カーボンニュートラルなイベント開催により, 普及啓発を図る事で函館市全体の環境に対する意識が高まる。
- ・ カプセルトイは, 他イベント (はこだてエコフェスタ, はこだてカルチャーナイト等) でも活用が可能。

(5) 課題等

- ・ はこだてエコライフ展の CO2 排出量算定 (適正なクレジット購入量精査)
- ・ Jブルークレジット単価の変動性 (毎年固定単価ではない)
- ・ カプセルトイ補充, 販売機のメンテナンス